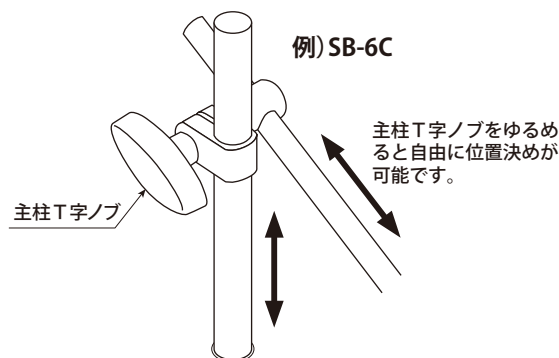


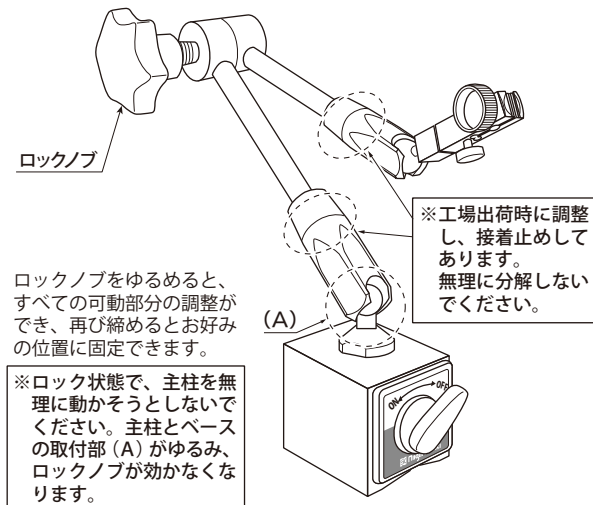
- ⑤ 測定器具などを取り付けた後、支柱、支柱の各ハンドルをゆるめ、お好みの位置に調整してください。

SB-6C/SB-6B/SB-80P/SB-130PL/SB-25Mの場合

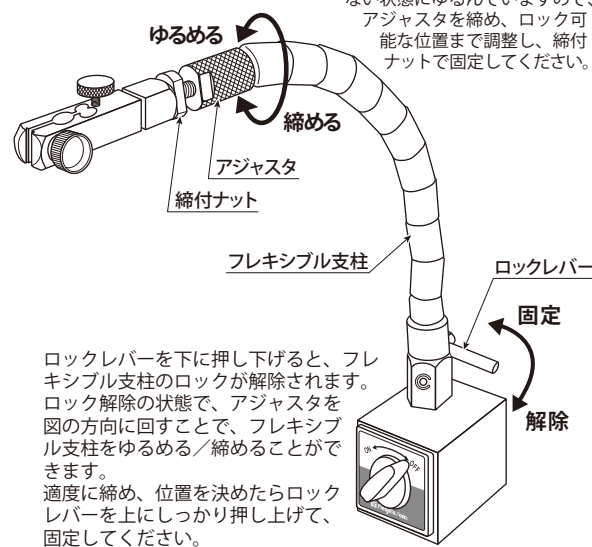


SB-100G/MB-7の場合

例) SB-100G



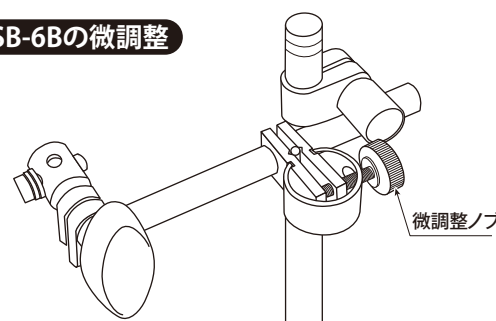
SB-80Fの場合



- ⑥ 最後に微調整を行います。(SB-6B/SB-80F/SB-100G)

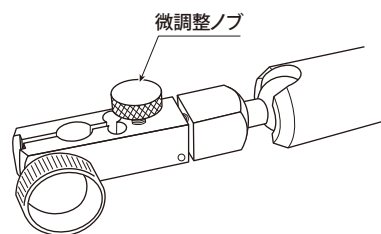
それぞれ下図のように調整します。

SB-6Bの微調整



ノブを左右に回し、支柱先端部の角度微調整ができます。

SB-80F/SB-100Gの微調整



微調整ノブを左右に回し、クランプ先端部の角度微調整ができます。

5 保管について

●強い磁界が発生します

- 必ずON/OFFレバーをOFFにして保管してください。ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。

新潟精機株式会社

〒955-0055 新潟県三条市塚野目5丁目3番14号
☎ (0256)33-5502(代) FAX (0256)33-5528
URL <http://www.niigataseiki.co.jp>

E907-Q6

23042000

SK Niigata Seiki

マグネットベースシリーズ

説明書適合品番

SB-6C

SB-6B

SB-80P

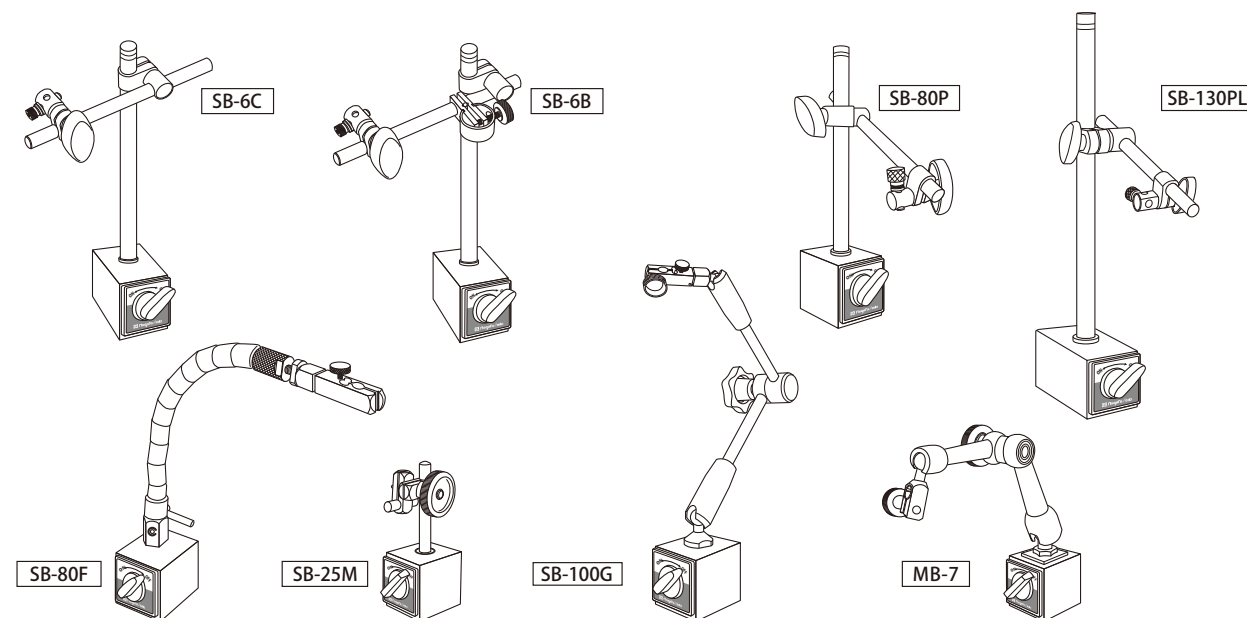
SB-130PL

SB-80F

SB-25M

SB-100G

MB-7



取扱説明書

この度はマグネットベースをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱い説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、必ず大切に保存してください。

1 安全上のご注意

(1) 強い磁界が発生します

- 時計などの精密機器やパソコン、磁気カードを近づけると、その機能を損なう恐れがあります。
- ペースメーカー使用者は、マグネットツールを取り扱わないでください。

(2) 強い磁力を発生します

- 不用意に銅板などに近づけると、強い吸着力のために急に引き付けられ、指先などにけがをする危険があります。手袋の使用など、身体に安全に心掛けてください。
- ON/OFFレバーがOFFになっていることを必ず確かめてから、鉄に近づけてください。

(3) 吸着力は大きく変化します。

- 以下の場合には吸着力が低下しますのでご注意ください。
 - ・吸着対象物が薄い。
 - ・軟鋼板以外の材質に吸着させている。
 - ・吸着する面に凹凸やゴミの付着、塗装などによる隙間があいている。
- 吸着する力に比べ、吸着物が横すべりする力は、はるかに大きくなります。垂直な面に吸着させる場合は、特に注意が必要です。
- 機械の振動などによって、吸着物はすべりやすく、はがれやすくなります。

(4) 吸着力を確認してください。

- ご使用に際しては、まず対象物に吸着させてみて、用途に足る吸着力であることを必ず確認してください。

(5) マグネット本体を支えてON/OFF

- 不用意にON/OFFレバーを操作すると、突然磁力が消え、落下したり倒れたりして、事故を引き起こす危険があります。必ず本体を支えて、ON/OFF操作を行ってください。

(6) 使用後の保管は磁力に注意

- 必ずON/OFFレバーをOFFにして保管してください。(ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。)

(7) 本製品は、工業用に設計・製作された強力なツールです。

- 本製品は、工業用に設計・製作されておりますので、一般家庭やオフィスで使用される場合は、十分注意してお使いください。

2仕様

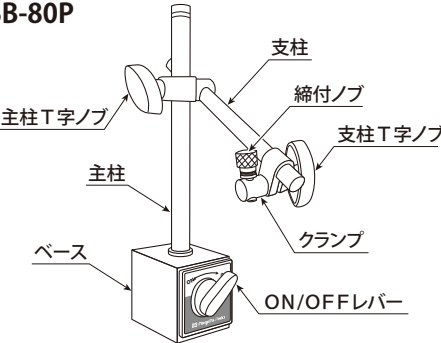
品番	仕様	ダイヤルゲージ 取付穴	吸着力 (約)	ベース寸法 W×D×H mm	主柱寸法 φ×L mm	支柱寸法 φ×L mm	主柱取付 ねじ	質量 (g) (約)
SB-6C	標準型	φ6.0mm/ φ8.0mm/ 耳金付ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	12×178	10×165	M8×P1.25	1500
SB-6B	微動付	φ6.0mm/ φ8.0mm/ 耳金付ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	12×178	10×165	M8×P1.25	1500
SB-80P	太主柱タイプ	φ6.0mm/ φ8.0mm/ 耳金付ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	14×178	12×165	M8×P1.25	1500
SB-130PL	太主柱タイプ	φ6.0mm/ φ8.0mm/ 耳金付ダイヤルゲージ用	1300N	50×117×55	20×350	14×200	M10×P1.25	3400
SB-80F	フレキシブル タイプ (微調整ノブ付)	φ6.0mm/ φ8.0mm/ アリ溝付	800 N	50×60×55	16×340	—	M8×P1.25	1300
SB-25M	ミニタイプ	φ6.0mm	250 N	30×35×35	7×54	—	M5×P0.8	270
SB-100G	ロックタイプ (微調整ノブ付)	φ6.0mm/ φ8.0mm/ アリ溝付	1000 N	50×75×55	(下記イラスト参照)	—	M8×P1.25	1700
MB-7	ミニロックタイプ	φ6.0mm/ φ8.0mm/ アリ溝付	250 N	30×35×35	(下記イラスト参照)	—	M5×P0.8	430

注意) ミニタイプのマグネットベースに大型のダイヤルゲージなどを取り付ける場合、ダイヤルゲージの重さに対し、マグネットの吸着力が不足していないか確認して取り付けてください。吸着力不足の場合マグネットが不意に脱落し、機器の破損につながります。

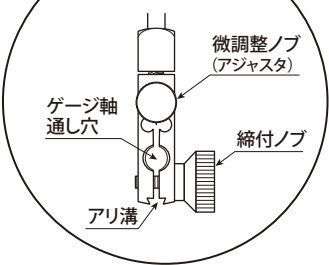
SB-130PL の使用について
本製品は非常に重く、落下すると大怪我につながる可能性があります。
逆さ、垂直面への取付は絶対におやめください。

3各部の名称

例) SB-80P



SB-80F, SB-100G,
MB-7のクランプ部



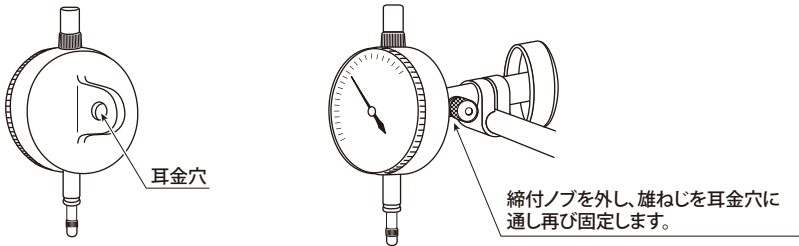
※ゲージ軸通し穴には軸径6mm用のコレットが付属しています。ゲージの軸径に合わせご使用ください。

4使用方法

1 付属のクランプに取付可能なダイヤルゲージなどをご用意ください。(適応するタイプは、2仕様欄をご確認ください。) マグネットは本体のON/OFF切替により脱着可能です。

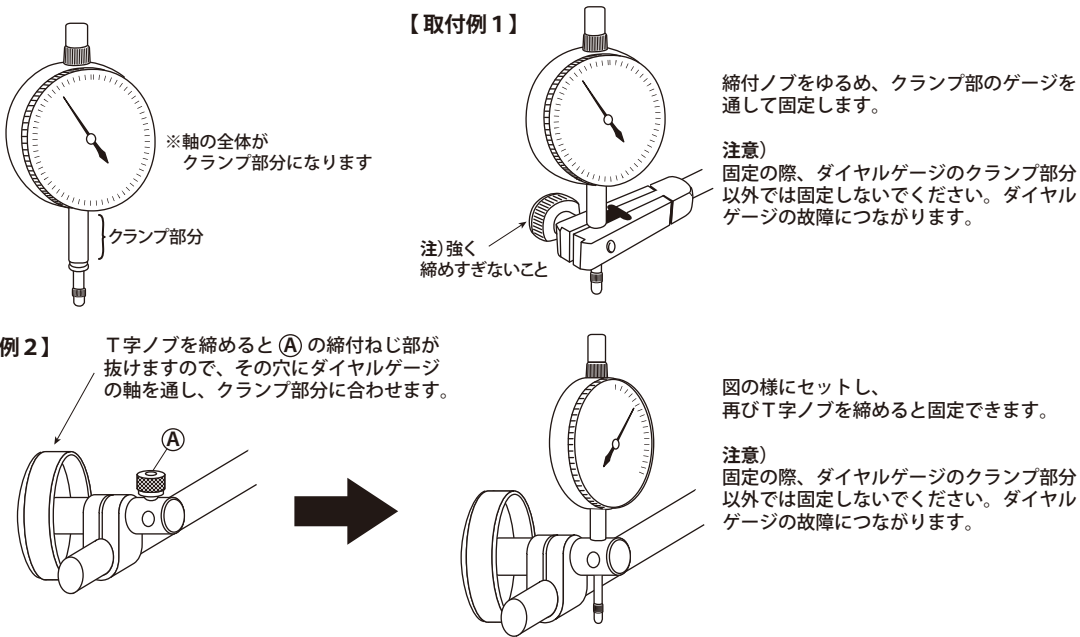
※ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合 (SB-6C/SB-6B/SB-80P/SB-130PL) ⇒ 2を参照してください。
※ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合 ⇒ 3を参照してください。
※テストインジケータ等をアリ溝に取り付ける場合 (SB-80F/SB-100G/MB-7) ⇒ 4を参照してください。

2 ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合



3 ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合

※あまり強く締めすぎないでください。



4 テストインジケータ等をアリ溝に取り付ける場合

